

表紙 鉱工業指数の推移(季節調整済指数)  
平成29年10月及び11月の出荷指数  
データがグラフに正しく反映されていなかったため、  
訂正しました。

## 千葉県鉱工業指数月報

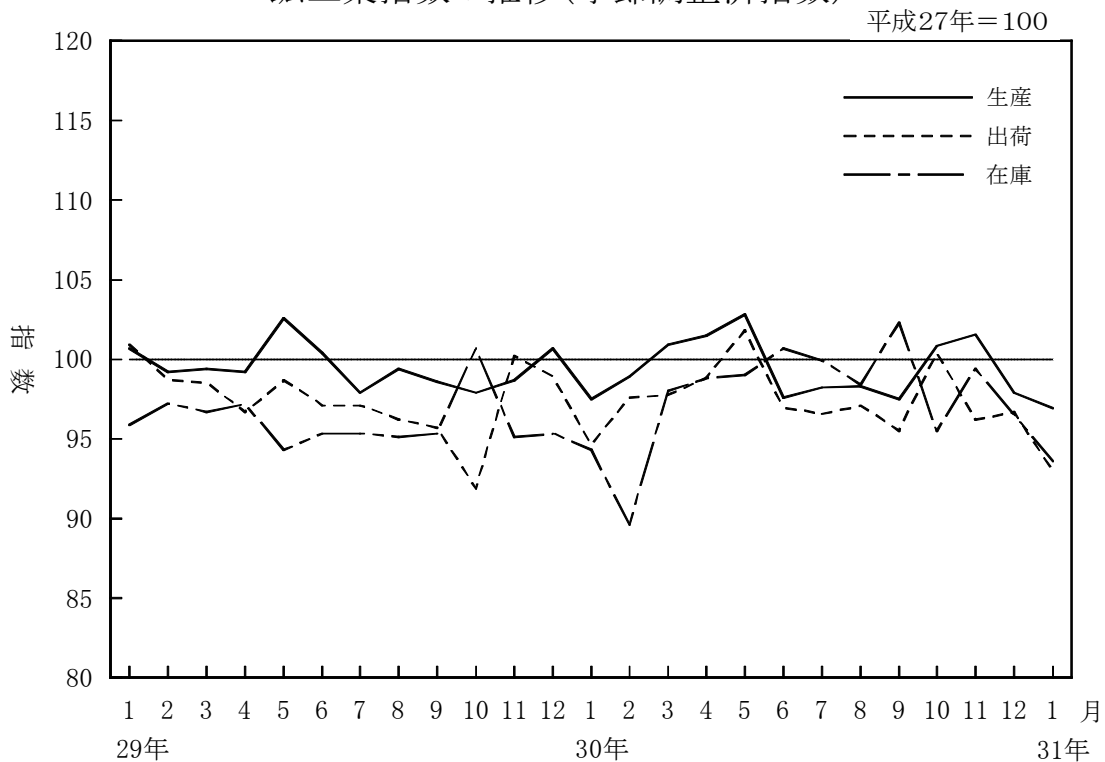
平成27年(2015年)基準

### 平成31年1月分

—生産指数は前月比△1.0%と2か月連続の低下—

- ・生産指数(季節調整済指数)は、96.9で前月比△1.0%と2か月連続の低下。
- ・出荷指数(同)は、93.0で前月比△3.8%と2か月ぶりの低下。
- ・在庫指数(同)は、93.6で前月比△3.1%と2か月連続の低下。

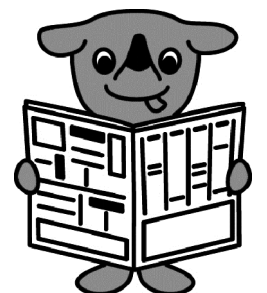
鉱工業指数の推移(季節調整済指数)



平成31年3月

千葉県総合企画部統計課

【今回の月報から、基準年次を平成22年(2010年)から平成27年(2015年)に改定しました。】



千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん

## <平成31年1月の動き>

### 概況(季節調整済指数)

- 生産指数は、96.9で前月比△1.0%の低下となりました。  
業種別にみると、電子部品・デバイス工業、食料品工業等が上昇し、非鉄金属工業、輸送機械工業等が低下しました。
- 出荷指数は、93.0で前月比△3.8%の低下となりました。  
業種別にみると、電子部品・デバイス工業、食料品工業等が上昇し、輸送機械工業、非鉄金属工業等が低下しました。
- 在庫指数は、93.6で前月比△3.1%の低下となりました。  
業種別にみると、生産用機械工業、紙・紙加工品工業等が上昇し、非鉄金属工業、プラスチック製品工業等が低下しました。

第1表 鉱工業指数の状況

項目	季節調整済指数		前月比 (%)	原指数		前年同月比 (%)
	30年12月	31年1月		30年1月	31年1月	
生産指数	97.9	96.9	△ 1.0	94.3	93.7	△ 0.6
出荷指数	96.7	93.0	△ 3.8	93.0	91.5	△ 1.6
在庫指数	96.6	93.6	△ 3.1	98.1	97.3	△ 0.8
在庫率指数	104.7	102.0	△ 2.6	106.5	110.1	3.4

第2表 鉱工業指数の推移

年月	30-1	30-2	30-3	30-4	30-5	30-6	30-7	30-8	30-9	30-10	30-11	30-12	31-1	前月比(%)
生産指数	97.5	98.9	100.9	101.5	102.8	97.6	98.2	98.3	97.5	100.8	101.6	97.9	96.9	△ 1.0
出荷指数	94.6	97.6	97.8	98.8	101.8	96.9	96.6	97.1	95.5	100.4	96.2	96.7	93.0	△ 3.8
在庫指数	94.3	89.6	98.0	98.8	99.0	100.7	99.9	98.4	102.3	95.5	99.4	96.6	93.6	△ 3.1
在庫率指数	98.6	89.8	103.3	98.2	94.9	109.1	102.3	103.6	114.8	95.3	105.8	104.7	102.0	△ 2.6

第3表 業種別動向

項目	上 昇		低 下	
	業 種	品 目	業 種	品 目
生産指数	電子部品・デバイス工業 48.7	アクティブ型液晶パネル(中・小型)	非鉄金属工業 △ 24.1	電力用電線・ケーブル
	食料品工業 6.5	蒸留酒	輸送機械工業 △ 13.5	鋼 船
	生産用機械工業 5.1	化学機械	プラスチック製品工業 △ 11.4	プラスチック製フィルム・シート
出荷指数	電子部品・デバイス工業 40.1	アクティブ型液晶パネル(中・小型)	輸送機械工業 △ 82.9	機関部品
	食料品工業 7.0	蒸留酒	非鉄金属工業 △ 29.1	電力用電線・ケーブル
	金属製品工業 6.2	鉄 骨	生産用機械工業 △ 14.8	シヨベル系掘削機械
在庫指数	生産用機械工業 39.7	シヨベル系掘削機械	非鉄金属工業 △ 16.0	通信用ケーブル光ファイバ製品
	紙・紙加工品工業 11.8	段ボールシート	プラスチック製品工業 △ 9.2	プラスチック製フィルム・シート
	化学工業 2.0	フェノール	石油・石炭製品工業 △ 8.9	ジェット燃料油

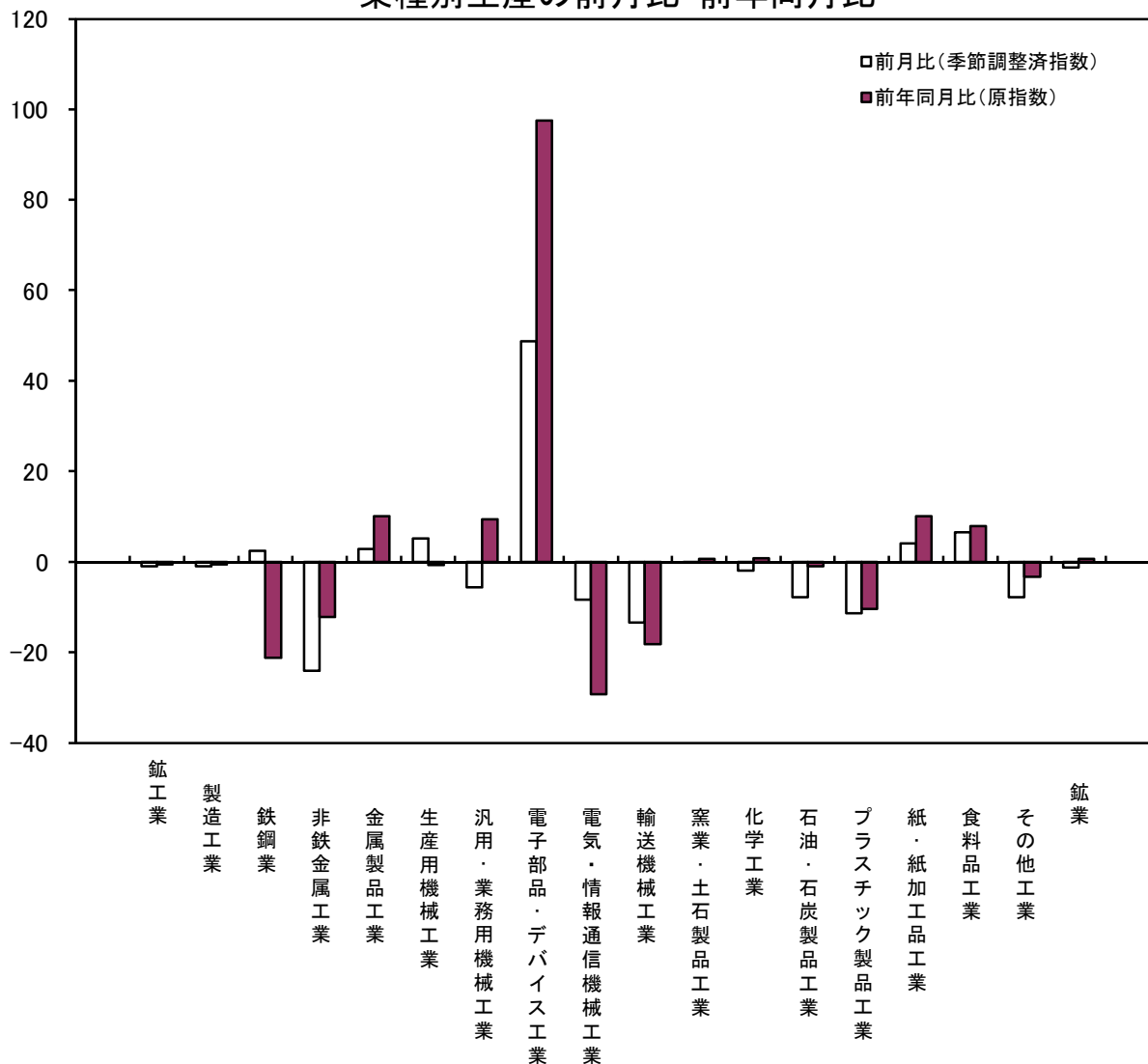
(注)業種は増減率の大きいもの、数値は前月比(%), 品目は寄与率の大きいもの

第4表 品目別動向

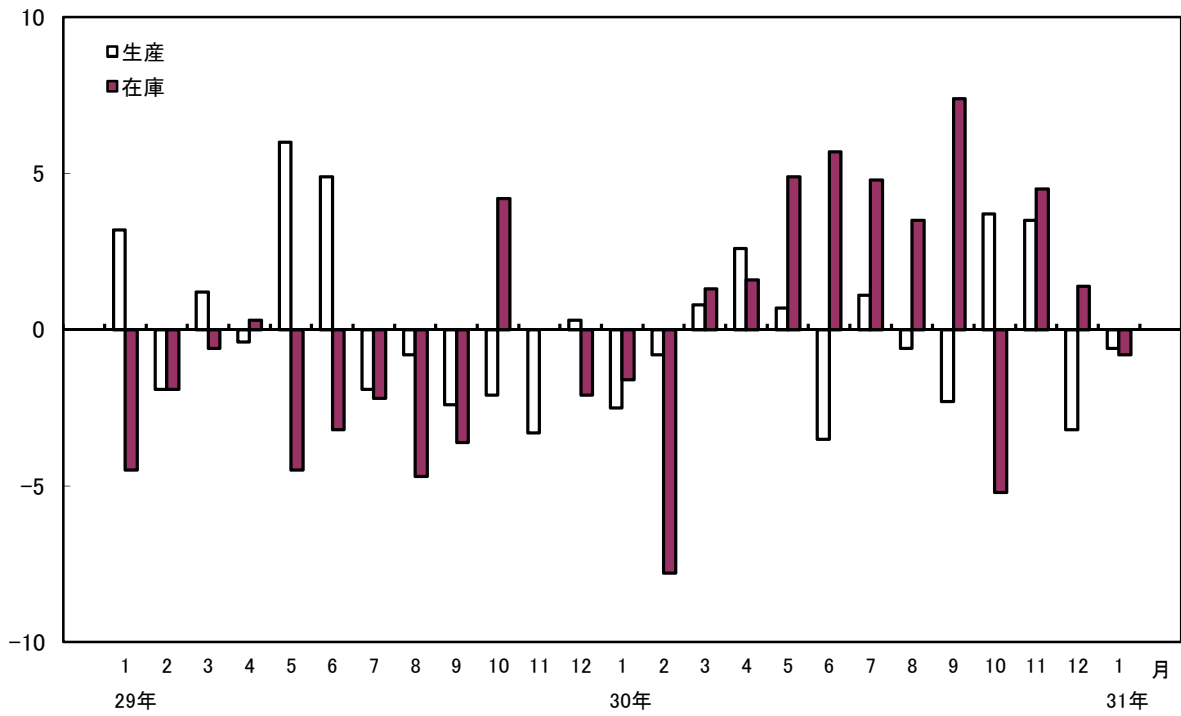
項目	上 昇	低 下
生産指数	アクティブ型液晶パネル(中・小型)(電子部品・デバイス工業)	フェノール(化学工業)
	蒸 留 酒(食品工業)	ジェット燃料油(石油・石炭製品工業)
	鉄 骨(金属製品工業)	軽 油(石油・石炭製品工業)
出荷指数	アクティブ型液晶パネル(中・小型)(電子部品・デバイス工業)	電力用電線・ケーブル(非鉄金属工業)
	蒸 留 酒(食品工業)	軽 油(石油・石炭製品工業)
	鉄 骨(金属製品工業)	ショベル系掘削機械(生産用機械工業)
在庫指数	ショベル系掘削機械(生産用機械工業)	通信用ケーブル光ファイバ製品(非鉄金属工業)
	フェノール(化学工業)	ジェット燃料油(石油・石炭製品工業)
	ポリプロピレン(化学工業)	軽 油(石油・石炭製品工業)

(注)品目は寄与率の大きいもの

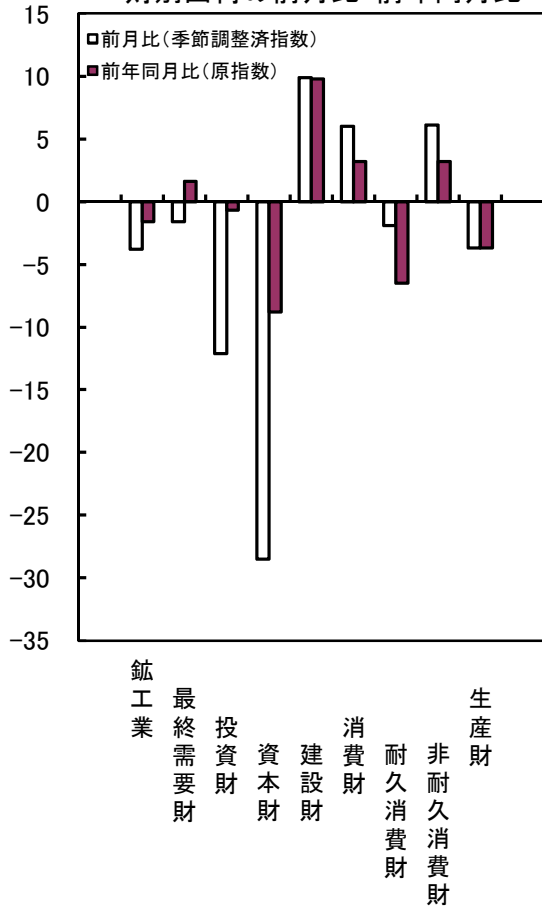
業種別生産の前月比・前年同月比



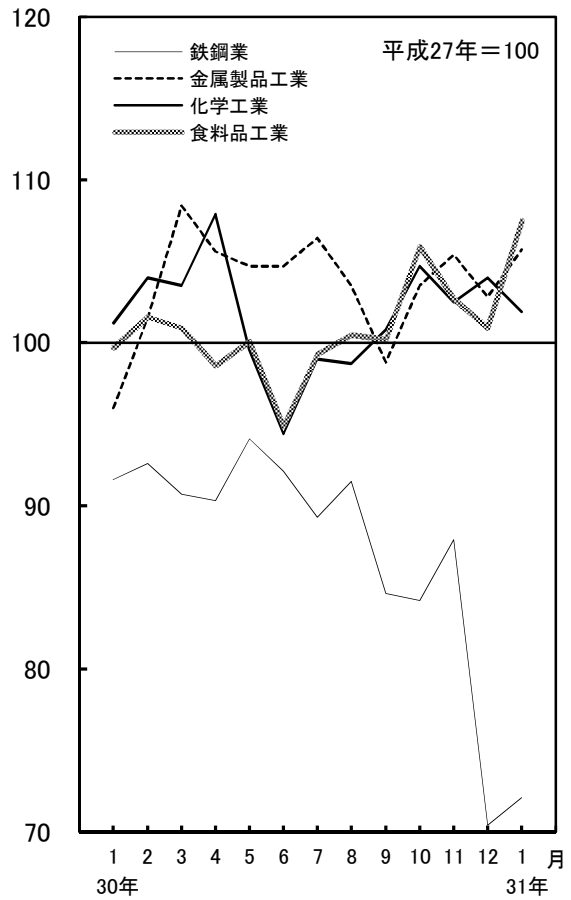
生産・在庫の前年同月比(原指数)



財別出荷の前月比・前年同月比



主要業種の生産(季節調整済指数)



業種別生産指数

平成27年=100.0

Table with multiple columns for industry categories (e.g., 製造業, 食品工業, 繊維工業) and rows for years (平成25年 to 平成30年) and ratios (前年同月比%).

(注1)平成30年及び平成31年の数値は速報値

(注2)※は業種別分類の16業種を示す。



業種別在庫指数

平成27年=100.0

Table with columns for year/month, industry sector (e.g., 製造業, 化学工業), and index values. Includes a detailed breakdown of manufacturing industries.

(注1)平成30年及び平成31年の数値は速報値 (注2)※は業種別分類の16業種を示す。





財別出荷指数

平成27年=100.0

Table with 12 columns: 原指数 (Original Index), 工業 (Industry), 最終需要財 (Final Demand Goods), 投資財 (Investment Goods), 資本財 (Capital Goods), 建設財 (Construction Goods), 消費財 (Consumer Goods), 耐用消費財 (Durable Consumer Goods), 非耐用消費財 (Non-durable Consumer Goods), 生産財 (Production Goods), 工業用其他 (Industrial Other), 其他 (Other). Rows include annual averages from 2013 to 2015 and monthly data from Dec 2015 to Jan 2016.

(注)平成30年及び平成31年の数値は速報値

財別生産指数

平成27年=100.0

Table with 12 columns: 原指数 (Original Index), 工業 (Industry), 最終需要財 (Final Demand Goods), 投資財 (Investment Goods), 資本財 (Capital Goods), 建設財 (Construction Goods), 消費財 (Consumer Goods), 耐用消費財 (Durable Consumer Goods), 非耐用消費財 (Non-durable Consumer Goods), 生産財 (Production Goods), 工業用其他 (Industrial Other), 其他 (Other). Rows include annual averages from 2013 to 2015 and monthly data from Dec 2015 to Jan 2016.

(注)平成30年及び平成31年の数値は速報値



# 利 用 上 の 注 意

## 1 指数の種類、ウェイト算定基準及び採用品目数

指数の種類	基準時	ウェイト算定基準	採用品目数
生産指数	平成27年	付加価値額	244
出荷指数	平成27年	出荷額	244
在庫指数	平成27年	在庫額	166
在庫率指数	平成27年		

※ 指数値は、平成27年の平均値を100.0とした比率で示しています。

## 2 分類

日本標準産業分類を基本とした業種分類、財の用途に着目した特殊分類です。

## 3 ウェイトの算定

生産指数、出荷指数及び在庫指数のウェイトは、それぞれ基準時の付加価値額、出荷額及び在庫額の鉱工業全体に対する各品目の1万分比です。

## 4 指数の算出

生産指数、出荷指数及び在庫指数は、個別系列（採用品目）を指数化し基準時の固定ウェイトで加重平均するラスパイレソ算式を採用しています。

$$\text{総合指数} = \frac{\left[ \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times \text{基準時ウェイト} \right] \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}} \times 100$$

ただし、在庫率指数（出荷に対する在庫の割合を表す指数）は、次の式を用いています。

$$\text{総合在庫率指数} = \frac{\left[ \frac{\frac{\text{比較時の在庫数量}}{\text{比較時の出荷数量}}}{\frac{\text{基準時の在庫数量}}{\text{基準時の出荷数量}}} \times \text{基準時在庫額ウェイト} \right] \text{の総和}}{\text{基準時在庫額ウェイトの総和}} \times 100$$

## 5 季節調整

季節調整とは、1年を周期とする季節変動要素（社会的慣習、制度、気象条件等）を除去することを言います。本県では、生産・出荷指数については、米国センサス局のX-12-ARIMA、在庫・在庫率指数については、X-11デフォルトを用いて季節指数を求め、調整前の指数（原指数）を季節指数で除して季節調整済指数を算出しています。

## 6 寄与率

総合の増減に対して、その内訳である業種や品目の影響の度合いがどれくらいあるかを示すもので総合の増減を100にしたときの構成比を表します。

## 7 資料

採用品目の月々の生産数量等は、経済産業省生産動態統計調査の結果を基準資料とし、併せて、千葉県工業生産動態統計調査の資料を使用しています。

## 8 年間補正

1年間の実数値がすべて確定した時点で年間補正作業を行い、指数をすべて計算し直し、その結果を確定値として「千葉県鉱工業指数年報」にて公表しています。したがって、本書記載の指数値は修正されることがあります。

## 9 指数値等の表示方法

- (1) 指数値は、暦年別及び月別に算出し、表示しています。
- (2) 暦年指数値及び前年同月比は、原指数によって算出し、表示しています。
- (3) 前月比は、季節調整済指数によって算出し、表示しています。
- (4) 暦年指数値は、1～12月の平均指数値です。ただし、在庫指数は、年末の指数値です。
- (5) 各数値の掲載単位未満は、すべて四捨五入しています。

## 10 符号の用法

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 「—」 ……該当数値のないもの     | 「△」 ……比較減を示す    |
| 「0.0」 ……掲載単位に満たないもの | 「X」 ……数値を秘匿したもの |

※ 平成29年以前の数値は確報値です。

※ 平成30年1月～7月の数値は、年間補正に伴い再計算した数値です。

※ 平成30年の数値は、推計値を含む速報値であり、後日公表する数値と相違することがあります。

**千葉県鉱工業指数月報 Vol.40 No.12**

**平成31年1月分**

発行日 平成31年3月28日

編集・発行 千葉県総合企画部統計課

所在地 千葉市中央区市場町1-1

電話 043-223-2227 FAX 043-227-4458

<http://www.pref.chiba.lg.jp/toukei/toukeidata/koukougyou/>